



## 2021年9月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月10日

上場会社名 株式会社 大森屋

上場取引所 東

コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 達郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中田 勝

TEL 06-6464-1198

定時株主総会開催予定日 2021年12月21日

配当支払開始予定日

2021年12月22日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期の連結業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	17,904	0.9	470	37.3	484	37.7	331	80.4
2020年9月期	18,060	2.2	342	5.1	351	5.1	183	20.9

(注) 包括利益 2021年9月期 338百万円 (74.3%) 2020年9月期 194百万円 (20.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	65.63		3.1	3.6	2.6
2020年9月期	36.24		1.8	2.7	1.9

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	13,927	10,693	76.8	2,125.18
2020年9月期	13,081	10,461	80.0	2,062.83

(参考) 自己資本 2021年9月期 10,693百万円 2020年9月期 10,461百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,403	599	210	1,798
2020年9月期	386	242	148	779

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		0.00		15.00	15.00	76	41.4	0.7
2021年9月期		0.00		15.00	15.00	75	22.9	0.7
2022年9月期(予想)		0.00						

(注) 2022年9月期の期末配当につきましては、現時点で未定とさせていただきます。

### 3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,410		205		210		375		74.53
通期	14,820		500		510		600		119.24

(注) 2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	5,098,096 株	2020年9月期	5,098,096 株
期末自己株式数	2021年9月期	66,364 株	2020年9月期	26,539 株
期中平均株式数	2021年9月期	5,052,043 株	2020年9月期	5,071,565 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	17,801	0.9	471	38.5	482	37.3	329	80.1
2020年9月期	17,963	2.4	340	6.5	351	6.1	182	22.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	65.14	
2020年9月期	36.04	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	13,863	10,728	77.4	2,132.17
2020年9月期	13,039	10,466	80.3	2,063.67

(参考) 自己資本 2021年9月期 10,728百万円 2020年9月期 10,466百万円

2. 2022年9月期の個別業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,360		210		375		74.53
通期	14,705		508		598		118.85

(注)2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページの「1. 経営成績の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(修正再表示)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 役員の変動	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が制限され、個人消費が停滞するなど景気が下押しされる厳しい状況となりました。ワクチン接種の普及により感染者数は減少傾向にあり企業活動や経済活動は回復の兆しは見られるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、外食需要は回復傾向にはあるものの厳しい状況には変わりはなく、内食化傾向は高まりましたが、消費者の節約志向もさらに強まりました。

当社グループを取り巻く市場環境といたしましては、主要原材料である原料海苔は、今収穫量は昨年より少なくなるものの、平均仕入価格は前年よりも安値となりました。

このような状況のもと、当社では従業員の健康維持のため、新型コロナウイルス感染リスクの抑制に取り組み、安全・安心な製品の安定供給に努めております。一方で原材料費、物流費、人件費をはじめとするコスト増に対応すべく効率的な生産活動に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は17,904百万円（前期比0.9%減）となりました。利益面におきましては、営業利益は470百万円（前期比37.3%増）、経常利益は484百万円（前期比37.7%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は331百万円（前期比80.4%増）となりました。

当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、売上高を品目別に分類しますと、家庭用海苔につきましては、「バリバリ職人シリーズ」が好調に推移したことにより、売上高は8,216百万円（前期比10.1%増）となりました。進物品につきましては、冠婚葬祭向けの需要が減少し、売上高は824百万円（前期比14.9%減）と不振が続いております。ふりかけ等につきましては、新製品「バリバリわかめ兄弟」が寄与したものの既存品は苦戦を強いられ、売上高は3,450百万円（前期比8.2%減）となりました。業務用海苔につきましては、コンビニエンスストア等の販売不振により、売上高は5,302百万円（前期比8.6%減）となりました。その他につきましては、売上高は110百万円（前期比54.1%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の分析

##### (資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて845百万円増加し、13,927百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて454百万円増加し、10,591百万円となりました。これは、現金及び預金が1,018百万円、受取手形及び売掛金が56百万円それぞれ増加した一方、たな卸資産が498百万円、その他の流動資産が121百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて390百万円増加し、3,335百万円となりました。これは主に、有形固定資産が329百万円、投資有価証券が54百万円それぞれ増加したことによるものであります。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて275百万円増加し、2,335百万円となりました。これは主に、未払金が170百万円、短期借入金が39百万円、未払法人税等が37百万円、支払手形及び買掛金が28百万円それぞれ増加した一方、その他の流動負債が12百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて338百万円増加し、898百万円となりました。これは、長期借入金が277百万円、退職給付に係る負債が61百万円それぞれ増加したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて231百万円増加し、10,693百万円となりました。これは主に、利益剰余金が255百万円、その他有価証券評価差額金が40百万円、自己株式が31百万円、退職給付に係る調整累計額が31百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

## キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,018百万円増加し、1,798百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,403百万円（前連結会計年度末は386百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益507百万円（前連結会計年度比209百万円増）、たな卸資産の減少額499百万円（前連結会計年度末は876百万円の増加）、減価償却費226百万円（前連結会計年度比1百万円増）、未収消費税等の減少143百万円（前連結会計年度末は143百万円の増加）、その他の資産・負債の減少額120百万円（前連結会計年度末は26百万円の増加）、未払消費税等の増加56百万円（前連結会計年度末は66百万円の減少）、退職給付に係る負債の増加額61百万円（前連結会計年度比47百万円増）の収入があった一方、法人税等の支払額152百万円（前連結会計年度末は40百万円の還付）、売上債権の増加55百万円（前連結会計年度末は82百万円の減少）の支出があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は599百万円（前連結会計年度比357百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出626百万円（前連結会計年度比409百万円増）があった一方、投資有価証券の売却による収入44百万円があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は210百万円（前連結会計年度末は148百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金による収入400百万円があった一方、長期借入金の返済による支出82百万円（前連結会計年度比9百万円増）、配当金の支払額75百万円（前連結会計年度比0百万円減）、自己株式の取得による支出31百万円（前連結会計年度比31百万円増）によるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率	77.9	71.1	80.1	80.0	76.8
時価ベースの自己資本比率	36.7	33.1	31.6	30.0	28.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	0.4	△0.7	△0.6	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	△254.6	799.5	△305.6	△169.8	615.4

（注）

- 各指標はいずれも以下の算式により算出しております。  
 自己資本比率 自己資本÷総資産  
 時価ベースの株主資本比率 株式時価総額÷総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ 営業キャッシュ・フロー÷利払い
- 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
- 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
- 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しております。
- 2017年9月期の各期末は、有利子負債期末残高が無いいため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率は記載していません。

#### (4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く市場環境は、新型コロナウイルスの感染収束の兆しは見られるものの、感染拡大の懸念もあり不透明な状況が続くものと思われ、景気の早期回復も難しく、消費者の生活防衛意識の高まりから、依然として節約志向、低価格志向が今後も続くと思われ、厳しい環境が続くものと想定されます。

このような状況の中、当社グループといたしましては、引き続き新型コロナウイルス感染リスクの抑制に取り組み、安全・安心な製品の安定供給に努めるとともに、生産活動の効率化やコスト削減を強力に推し進め、新製品の開発に注力し、売上目標・利益目標の達成と経営効率の向上に向けての努力を続けてまいります。

次期(2022年9月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高14,820百万円、営業利益500百万円、経常利益510百万円、親会社株主に帰属する当期純利益600百万円を見込んでおります。

なお、2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、2022年9月期(予想)は当該会計基準を適用した後の金額となっており、対前年同期比は記載しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	779,782	1,798,356
受取手形及び売掛金	2,815,162	2,871,666
たな卸資産	6,379,022	5,880,451
その他	162,732	41,051
流動資産合計	10,136,700	10,591,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,781,580	3,193,981
減価償却累計額	△1,869,131	△1,792,718
建物及び構築物(純額)	912,448	1,401,262
機械装置及び運搬具	2,520,884	2,563,622
減価償却累計額	△1,871,270	△1,993,307
機械装置及び運搬具(純額)	649,613	570,314
土地	721,179	721,179
建設仮勘定	89,967	—
その他	111,075	122,282
減価償却累計額	△101,059	△102,757
その他(純額)	10,016	19,525
有形固定資産合計	2,383,225	2,712,281
無形固定資産	35,646	38,492
投資その他の資産		
投資有価証券	380,589	434,979
繰延税金資産	113,592	120,152
その他	34,722	32,491
貸倒引当金	△2,500	△2,500
投資その他の資産合計	526,404	585,123
固定資産合計	2,945,277	3,335,897
資産合計	13,081,977	13,927,421
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	767,658	796,281
短期借入金	72,600	112,596
未払金	914,788	1,085,065
未払法人税等	103,000	140,100
賞与引当金	86,826	98,115
その他	115,845	103,793
流動負債合計	2,060,720	2,335,951
固定負債		
長期借入金	157,300	434,705
長期未払金	44,045	44,045
退職給付に係る負債	358,137	419,395
固定負債合計	559,483	898,146
負債合計	2,620,203	3,234,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	8,545,543	8,801,027
自己株式	△25,790	△57,125
株主資本合計	10,377,965	10,602,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,570	145,357
為替換算調整勘定	9,189	7,257
退職給付に係る調整累計額	△29,950	△61,405
その他の包括利益累計額合計	83,808	91,209
純資産合計	10,461,773	10,693,323
負債純資産合計	13,081,977	13,927,421



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	18,060,775	17,904,299
売上原価	12,444,003	11,986,480
売上総利益	5,616,772	5,917,819
販売費及び一般管理費	5,274,026	5,447,185
営業利益	342,746	470,633
営業外収益		
受取利息	103	29
受取配当金	8,464	7,935
為替差益	—	5,944
助成金収入	2,889	1,004
その他	2,268	2,185
営業外収益合計	13,725	17,099
営業外費用		
支払利息	2,339	2,254
為替差損	1,707	—
その他	470	935
営業外費用合計	4,516	3,190
経常利益	351,954	484,542
特別利益		
投資有価証券売却益	—	32,968
特別利益合計	—	32,968
特別損失		
固定資産除却損	48,415	9,242
固定資産売却損	1,403	399
PCB処理費用	2,495	—
会員権評価損	1,000	—
特別損失合計	53,313	9,642
税金等調整前当期純利益	298,641	507,868
法人税、住民税及び事業税	127,551	186,986
法人税等調整額	△12,693	△10,674
法人税等合計	114,857	176,311
当期純利益	183,783	331,557
親会社株主に帰属する当期純利益	183,783	331,557

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	183,783	331,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,862	40,787
為替換算調整勘定	1,588	△1,931
退職給付に係る調整額	194	△31,454
その他の包括利益合計	10,644	7,400
包括利益	194,428	338,957
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	194,428	338,957
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	814,340	1,043,871	8,437,833	△25,774	10,270,270
当期変動額					
剰余金の配当			△76,073		△76,073
親会社株主に帰属する当期純利益			183,783		183,783
自己株式の取得				△15	△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			107,709	△15	107,694
当期末残高	814,340	1,043,871	8,545,543	△25,790	10,377,965

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	95,707	7,601	△30,145	73,163	10,343,434
当期変動額					
剰余金の配当					△76,073
親会社株主に帰属する当期純利益					183,783
自己株式の取得					△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,862	1,588	194	10,644	10,644
当期変動額合計	8,862	1,588	194	10,644	118,339
当期末残高	104,570	9,189	△29,950	83,808	10,461,773

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	814,340	1,043,871	8,545,543	△25,790	10,377,965
当期変動額					
剰余金の配当			△76,073		△76,073
親会社株主に帰属する当期純利益			331,557		331,557
自己株式の取得				△31,334	△31,334
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			255,483	△31,334	224,148
当期末残高	814,340	1,043,871	8,801,027	△57,125	10,602,113

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	104,570	9,189	△29,950	83,808	10,461,773
当期変動額					
剰余金の配当					△76,073
親会社株主に帰属する当期純利益					331,557
自己株式の取得					△31,334
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	40,787	△1,931	△31,454	7,400	7,400
当期変動額合計	40,787	△1,931	△31,454	7,400	231,549
当期末残高	145,357	7,257	△61,405	91,209	10,693,323

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	298,641	507,868
減価償却費	224,778	226,198
受取利息及び受取配当金	△8,567	△7,964
支払利息	2,339	2,254
為替差損益(△は益)	1,707	△5,944
固定資産売却損益(△は益)	1,403	399
固定資産除却損	6,225	3,622
会員権評価損	1,000	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△32,968
賞与引当金の増減額(△は減少)	499	11,288
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,747	61,257
未収消費税等の増減額(△は増加)	△143,818	143,818
未払消費税等の増減額(△は減少)	△66,769	56,449
売上債権の増減額(△は増加)	82,208	△55,084
たな卸資産の増減額(△は増加)	△876,270	499,142
仕入債務の増減額(△は減少)	56,000	20,036
その他	△26,156	120,050
小計	△433,031	1,550,424
利息及び配当金の受取額	8,510	7,965
利息の支払額	△2,275	△2,281
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	40,342	△152,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△386,453	1,403,846
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△217,586	△626,766
有形固定資産の売却による収入	—	27
無形固定資産の取得による支出	△19,322	△11,794
投資有価証券の取得による支出	△6,952	△7,286
投資有価証券の売却による収入	—	44,636
貸付金の回収による収入	1,270	541
その他の投資等の取得による支出	△397	△127
その他の投資等による収入	815	1,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242,172	△599,373
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,400,000	2,200,000
短期借入金の返済による支出	△1,400,000	△2,200,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△72,600	△82,599
自己株式の取得による支出	△15	△31,334
配当金の支払額	△75,800	△75,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,416	210,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	3,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△777,016	1,018,573
現金及び現金同等物の期首残高	1,556,799	779,782
現金及び現金同等物の期末残高	779,782	1,798,356

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りは、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は収束時期の見通しが不透明な状況であり、事業によってその影響や程度が異なるものの、当期末の見積りに大きな影響を与えるものではないと想定しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の広がりにもなう経済活動への影響等には不確定要素も多いため、想定に変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	2,062.83円	2,125.18円
1株当たり当期純利益金額	36.24円	65.63円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—円	—円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	183,783	331,557
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	183,783	331,557
普通株式の期中平均株式数(株)	5,071,565	5,052,043

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	10,461,773	10,693,323
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,461,773	10,693,323
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,071,557	5,031,732

## (重要な後発事象)

## (固定資産の譲渡)

当社は、2020年11月11日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産を譲渡することについて決議し、2020年11月19日に売買契約を締結し、2021年10月29日に譲渡いたしました。

## 1. 譲渡の理由

当社は、2020年4月22日付「固定資産の取得（新社屋建設）に関するお知らせ」にて公表いたしました本社新社屋竣工・移転に伴い、資産の有効活用を図るため、現在保有の本社土地を譲渡するものであります。

## 2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡益	現況
大阪市福島区野田四丁目3番34号 土地 820.64㎡	417百万円	本社事務所

(注) 譲渡価額、帳簿価額については、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます。

## 3. 譲渡先の概要

譲渡先は、国内法人1社であります。譲渡先の意向により開示を控えさせていただきます。  
なお、当社と譲渡先の間には、記載すべき資本関係、人的関係、関連当事者関係はありません。

## 4. 譲渡の日程

(1) 取締役会決議日	2020年11月11日
(2) 契約締結日	2020年11月19日
(3) 物件引渡日	2021年10月29日

## 5. 今後の見通し

当該固定資産の譲渡により、2022年9月期に固定資産売却益として417百万円の特別利益を計上する予定であります。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ① 代表者の変動

該当事項はありません。

###### ② その他の役員の変動 (2021年12月21日予定)

###### ・新任取締役候補

取締役 河田 信光 (現 総務部長)

###### ・退任予定取締役

取締役 中田 勝 (現 管理本部長)

###### ・新任監査役候補

常勤監査役 中田 勝 (現 管理本部長)

###### ・退任予定監査役

常勤監査役 別所 厚